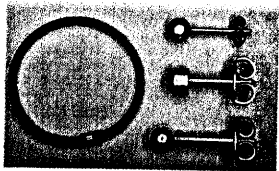


★★★

ピアスをしたいのだけど、
本当に害がないの？

最近ピアスによるトラブルで悩んでいる人が少なくないようです。もともと何でもなかったところに穴をあけ、異物を入れるのですから、気軽に考えていると、トラブルが発生するのは当然です。しかし、注意すべき点を注意すれば、かなりの確率で防ぐことができます。いちばん大切なのは、アフターケアまできちんとし

てくれる医師を選び、トラブルが起きたらすぐ相談をするということ。それからピアッシングには穴あけ専用のK24ピアスを使用するということです。



↑上はK18の普通のピアス。ピンが細く、しかも純金でないトラブルの原因に。中、下のようなピンを太いK24のもので穴を開けて、また、耳たぶの厚い人はピンの長いものを

★★★

最近よく耳にする金属アレルギーって何

金属アレルギーというのはある特定の金属に対する抗体が体内にできてしまい、以後その金属が傷口（ひどくなると肌に触れただけでも）に触れると拒絶反応を起こすことです。原因は歯科治療による詰め物やピアス。最近ではピアスによるものが非常に多いようです。というのも金属はイオンとなって体液中に溶けやすい性質を持っているため、体液中に直接触れるピアスはアレルギーを起こしやすいのです。金属アレルギーにならないためには、化膿したり、腫れたら、すぐ医師

に相談することです。そのままピアスをはさず自分で治そうとするのは最も危険。またK18なら安心というのも間違った常識。K18というのは合金ですから、穴が完成しても2、3カ月は純金(K24)を使うようにすることが肝心。ピアスによる金属アレルギーにはK18アレルギーが意外と多いとか。とにかく、一度抗体ができる、一生アレルギーから解放されないということをお忘れなく。

↑金属アレルギーを起こすような素敵なアクセサリーがなくなってしまうことも。ピアス5万4000円(リスポステ・デ